年間授業計画

第四商業高等学校（１学年）

教科：　商業　　**科目　ビジネス基礎**　　単位数：　３　単位

◆対象学年組：第１学年　Ａ組～E組

◆使用教科書（ ビジネス基礎（実教出版）　　）

◆教科　商業　の目標：

【知識及び技能】：商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】：ビジネスに関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】：職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目　ビジネス基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決ことについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取る組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章 商業の学習とビジネス １．いざ、ビジネスの世界へ ２．私たちの社会とビジネス 商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解します。	ビジネスの役割について、企業の社会的責任や、環境、エネルギー、食料などの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連付けて学びます。 実践する力、職業人として必要な豊かな人間性、他者と協働する力を身に付けます。	・商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解している。 ・商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、経済社会の持続的な発展と関連について考えている。 ・ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	第7章ビジネス計算 電卓の操作　四則計算	ビジネス計算のための計算の基礎的な景能力と技術を習得する。 電卓を用いた四則計算ならびにメモリー機能など職業人としての計算能力と技能を習得する。 習得した能力や技能を他の商業科目で活用できるようにする。	全国商業高等学校協会主催、ビジネス計算検定3級レベルの四則計算能力を目標とする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第3章 経済と流通の基礎 １．経済の仕組みとビジネス ２．経済活動と流通 　経済の仕組みと流通の必要性について理解します。	経済の基本概念、流通の役割など経済と流通に関する知識を基盤として、流通に関する課題を発見し、その解決方法を考えます。 　流通を支える組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付けます。	・経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	第4章 さまざまなビジネス １．ビジネスの種類 ２．小売業 ３．卸売業 ４．金融業 ５．情報通信業 ビジネスの種類について理解し、流通や流通に関わる様々なビジネスについて学びます。	流通や流通に関わるビジネスに関する知識を基盤として、流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考えます。 　流通や流通に関わる組織の一員としての役割を果たすための力を身につけます。	・ビジネスの種類と流通や流通に関わる様々なビジネスついて、経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・流通や流通に関わる様々なビジネスについて自ら学び、これらの組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	第7章 ビジネス計算 １．ビジネス計算の基礎 ２．ビジネス計算の応用 　ビジネス計算に関する知識や技術を学びます。	ビジネス計算について学び、その知識と技術で組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。	・ビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身についている。 ・ビジネス計算について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	第5章 企業活動の基礎 １．ビジネスと企業 ２．マーケティングの重要性 ３．資金調達 ４．財務諸表の役割 ５．企業活動と税 ６．雇用 　企業活動の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に必要な知識を学びます。	企業活動の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に必要な知識を学びます。 　企業活動に関する知識を基に、企業活動の動向など、企業活動に関する課題を発見し、その対応策を考えます。 　企業活動の展開について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。	・企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解している。 ・企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第6章 ビジネスと売買取引 １．売買取引の手順 ２．代金決済 　売買取引、代金決済など取引に関する知識や技術を学びます。	売買取引、代金決済など取引に関する知識や技術を学びます。 　取引に関する知識や技術を基に、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を考えます。 　契約の履行と締結について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。	・取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身についている。 ・取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 ・取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	第2章 ビジネスとコミュニケーション １．コミュニケーション ２．ビジネスマナー ３．情報の入手と活用 　ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性を学びます。	ビジネスマナーの意義を理解し、場面に応じて考え、活動できる力を身に付けます。 　企業活動における情報の重要性について理解し、情報の活用及び評価・改善を行います。	・ビジネスにおける信頼関係構築について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・ビジネスの場面を分析し、ビジネスにおいて他者への対応について考えている。 ・情報を入手して活用し、評価・改善している。ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	第8章 身近な地域のビジネス １．さまざまな地域の魅力と課題 ２．地域ビジネスの動向	さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について学びます。 　さまざまな地域のビジネスに関する知識などを基に、身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考えます。 　ビジネスの振興による地域の発展について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。	・さまざまな地域のビジネスについて理解している。 ・身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考え、実施及び評価・改善を行っている。 ・身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	11
	コンソーシアム　企業連携取組	ﾋﾞｼﾞﾈｽ基礎で学んだ知識を総合的に使って、企業研究、集団学習、アウトプットの技術を身に付けます。	・身近なビジネスについて自ら学び、課題について主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
						合計	105